KIS 公式版 特別特典「四季報新春号特集−有望抜粋銘柄」

KIS による推奨銘柄ではございませんが、今後の株価上昇が期待できる有望銘柄として2024 年 1 集 新春号（2023 年 12 月 18 日発売分）から特別に抜粋しております。
ぜひとも監視銘柄として注目してみてください。

1）DOE（株主資本配当率）ランキングより抜粋

株主還元に積極的な企業を計る指標として DOE が注目されている。

1）アルトナー（2163）

【特色】
技術者派遣の老舗。機械設計、ソフト開発など主力。人材紹介、請負・受託も。
【ポイント】
12/8 に 24/1 月期の経常利益予想を 13 億 2800 万円から 15 億 3600 万円に上方修正するとともに、期末配当を従来予想の 32 円から 37.5 円（前期末４０円）に増配すると発表した。「業界内で自他共に認めるナンバーワン高付加価値の技術者集団」を志す技術者派遣の老舗。

2）ジェイリース（7187）

【特色】
賃貸不動産における家賃債務保証業務。外国人や医療機関向け保証も。
【ポイント】
12/11 日の取引終了後、24/3 月期の配当予想について、期末配当を 35 円から 45 円へ引き上げると発表したことが好感されている。配当性向の水準を 30%程度から 40%程度に引き上げる配当方針の変更。

3）サイボウズ（4776）

【特色】
グループウエアのソフト開発主力。企業の部門向け中心。クラウド、小規模が得意。
【ポイント】
12/13 に発表した 23/12 月期第 3 四半期累計の営業利益は 31 億 2400 万円（前年同期比 3.7 倍）となっており、修正後の計画を超過している。また、10 月の営業利益（速報値）が 3 億 7800 万円（同 91.9%増）に拡大し、1－10 月累計は 35 億 300 万円（同 3.3 倍）に達している。

２）今期営業利益乖離率ランキングより抜粋

今期の会社予想と四季報（東洋経済）の予想が大きく乖離しているランキング。上方修正の期待が高い企業。

１）エージーピー（9377）

【特色】

航空機向け電力供給や空港施設保守が主力。フードシステムや工場野菜事業も。

【ポイント】

同社はＧＰＵ（地上動力設備）と呼ばれる装置を用い、航空機に電力などを供給する事業で日本国内の空港をほぼ独占している。一方、海外にも目を向け、タイでは現地法人（ＡＧＰタイランド）を通じて独自の空港技術である「埋設型ＧＰＵ」の展開を視野に入れている。

２）SPK（7466）

【特色】

自動車部品専門商社。補修・車検部品が主力。産機・建機用や部品組付も。

【ポイント】

10/31 大引け後に決算を発表。24/3 月期第 2Q 累計の連結経常利益は前年同期比 63.0%増の 19.3 億円に拡大し、通期計画の 29.5 億円に対する進捗率は 65.5%に達した。

３）NFHLD（6864）

【特色】

電子計測器開発。アナログ回路技術、NF 増幅技術・応用機器に強み。中国展開。

【ポイント】

10/30 大引け後に決算を発表。24/3 月期第 2Q 累計の連結経常利益は前年同期比 2.9 倍の 4.7 億円に急拡大し、通期計画の 6.9 億円に対する進捗率は 69.3%に達した。

３）来期増益率ランキングより抜粋

今期業績は相場に織り込まれている可能性が高いが、来期を織り込みに行く相場展開では有望な企業。

１）オプティマス（9268）

【特色】

ニュージーランド中心に中古車輸出。現地で自動車総合サービス展開。豪にも進出。

【ポイント】

12/18 引け後に 24/3 月期の連結営業利益予想を 60 億円から 69 億円（前期比 23 倍）に増額。11 月に子会社化した豪州企業の業績を反映。来期はさらに拡大傾向。

２）ヒビノ（2469）

【特色】

映像・音響設備提供サービスが主力。欧米ブランド機器の輸入販売にも強み。

【ポイント】

11/22 の取引終了後、ＩＣＴを活用した映像ソリューションを展開するエヌジーシー（東京都江東区）の全株式を 12/1 の予定で取得し子会社化すると発表しており、好材料視されている。ヒビノとエヌジーシーは取り扱い商品に重複が少なく、得意とする技術領域も異なることから相互補完関係にあるとして、今後両社の顧客に対して、ハードウェアとソフトウェアを融合したより高度なカスタムソリューションを提供することで事業拡大が見込めるとのこと。

３）トライト（9164）

【特色】

医療福祉従事者に特化した人材紹介や、建設業界の人材派遣事業を展開。

【ポイント】

11/14 大引け後に決算(国際会計基準=IFRS)を発表。23/12 月期第 3Q 累計の連結最終利益は前年同期比 31.3%増の 48.4 億円に拡大した。

　併せて、通期の同利益を従来予想の 43 億円→45.8 億円(前期は 36.2 億円)に 6.5%上方修正し、増益率が 19.0%増→26.7%増に急拡大し、従来の 2 期連続での過去最高益予想をさらに上乗せした。株価は底値圏を形成中。

４）ドラフト（5070）

【特色】

オフィスや商業施設などの企画デザインから設計、施工。多数のデザイナーに強み。

【ポイント】

同社は経済再開の恩恵で業績が急回復。来 12 月期も増益基調が継続する見込みにある。株価は高値圏でもみ合い、上値追いへの期待が高まっている。

コロナ禍からの回復基調が鮮明となり、高いデザイン性・企画力を有する同社グループのデザイン事業への需要が短期的な拡大、また中・長期的なプロジェクトとしての拡大も重なって好調に推移する見通しで注目。

こちらの特典は KIS 会員様で評価を送信して頂きました方限定で配布している特典情報となっております。

KIS 公式版ご利用規約の第 8 条（コンテンツに関する権利）に記載しております通り、KIS にて提供されるコンテンツに関して、著作権者の許諾なしに転載・引用する行為は、配信または投稿者の明示的な許諾がある場合を除いて、一切を禁止しております。

KIS 公式版の会員様以外の閲覧、ダウンロードにおける各種アクセス情報は IP アドレス、流入元サイトのドメイン等より常時確認をしておりますので、取り扱いには予めご注意ください。